

負担の少ない大腸内視鏡検査

さまざまな取り組みで提供する 快適で苦痛のない大腸内視鏡検査

やまの内科・胃腸内科クリニック

診療科目：内科、胃腸内科 休診日：木・土午後・日・祝
受付時間：月・火・水・金 9:00~12:00 / 17:00~19:00 土 9:00~12:00
〒569-0064 大阪府高槻市庄所町3番20号 TEL. 072-668-7033
<http://yamano-clinic.com/>



快適さやプライバシーへの 配慮が行き届いた内視鏡検査

胃がんや大腸がんの早期発見に重要な内視鏡検査。それに力を入れるのが、やまの内科・胃腸内科クリニックだ。山野剛院長は、患者が快適に検査を受けられることに重点を置き、胃における経鼻内視鏡の導入などさまざまな取り組みを進める。とりわけ大腸内視鏡検査では、検査前に下剤を服用する腸管洗浄を自宅で行うのが一般的だが、同院ではトイレ室の付いた個室を3つ設置し、患者が安心して快適に腸管洗浄を行えるよう配慮している。大腸内視鏡検査は、安全面に配慮しながら検査の苦痛を感じない程度の軽い鎮静



院長 山野 剛

やまのたけし ● 1997年、大阪医科大学医学部卒業。2016年より現職。日本内科学会認定総合内科専門医、日本血液学会認定血液専門医、日本消化器内視鏡学会認定消化器内視鏡専門医。

剤を併用し、患者の意識がある状態で行う。「それにより、例えば検査中にポリリーブが見つかった場合でも説明しながら治療を行うため、患者さんの安心感が大きいのです」と山野院長は語る。

苦痛の少ない内視鏡検査を 可能にする熟練の技術

鎮静剤を抑えている分、挿入法においても痛みを抑える手法を導入。それが、空気を入れず腸を少しずつ折りたたみながら挿入することで痛みを抑える無送気軸保持短縮法だ。高い技術を要する方法が使えるのも、過去に多くの症例に携わり内視鏡に習熟した山野院長だからこそといえる。「苦しいという印象から敬遠してしま

う方も多い大腸内視鏡検査ですが、苦痛の少ない検査を提供し、来年もまた受けようと思ってもらえれば」と山野院長。通常は焼き切るポリリーブの治療でも、焼かずに切除し出血を抑えるコールドポリペクトミーを行う



安心感や清潔さに配慮されたトイレ室の付いた個室やシャワー室

取材／鈴木健太

週刊朝日MOOK

手術数でわかる

いいいい病院

2018

やまの内科・胃腸内科クリニック